

プログラム 2 日目 令和 8 年 1 月 23 日 (金)

教育講演 4

9:00～10:30

第 1 会場 (4 階 メインホール)

「救急現場と生命倫理」 ～いのちの終わりにどう向き合うか～

司 会 鈴木 崇博 浜松市消防局

EL4 救急活動に求められる医療倫理

P.191

日本救急医療財団 横田 裕行

総合討論

10:45～12:15

第 1 会場 (4 階 メインホール)

「REVIVAL-リバイバル-」 ～ Professional Autonomy 「救急隊員の新たな未来像を熊本から」 ～

座 長 笠岡 俊志 熊本大学病院
アドバイザー 有賀 徹 労働者健康安全機構
細田 優子 横浜市消防局

GD-1 「救急隊員の新たな未来像を熊本から」

P.192

健和会大手町病院／救急救命九州研修所 畑中 哲生

GD-2 REVIVAL Begins in the Field — 蘇生の原点を、もう一度現場から

P.193

済生会宇都宮病院 藤田 健亮

GD-3 救急隊員の新たな未来像 ～人材育成やデジタル技術の活用～

P.194

豊橋市消防本部 奥村雄一郎

GD-4 救急救命士生涯教育の変遷から ～持続可能な救急体制を目指して～

P.195

札幌市消防局 長山英太郎

GD-5 特定行為（アドレナリン投与）の包括的指示について

P.196

熊本市消防局 森田 龍

スキルトレーニング 3

9:00～10:30

第 2 会場 (2 階 シビックホール)

「ミニKEMAT」 ～ピットホールを見抜け～

講 師	原富 由香	熊本赤十字病院		
司 会	朝倉 一郎	熊本市消防局		
指導者	桑原 謙	熊本赤十字病院	入江 弘基	熊本大学病院
	笹尾 駿介	熊本大学病院	杉松幸太郎	人吉医療センター
	高山 倫	熊本市市民病院	田尻 浩昭	帝京大学
	島村 賢悟	有明広域行政事務組合消防本部	宮村 一海	八代広域行政事務組合消防本部
	薮 欣弥	熊本県消防学校	吉川 岳志	熊本市消防局
	清水 健太	熊本市消防局		

ST3 ミニKEMAT ～ピットホールを見抜け～

P.199

熊本赤十字病院 原富 由香

スキルセミナー2

10:45～12:15

第2会場 (2階 シビックホール)

「ミニPPST」 ～救急隊員向け精神科救急対応を学べ～

講師	橋本 聡	熊本医療センター
指導者	濱田 拓也	有明広域行政事務組合消防本部
	佐々木夏恵	呉市消防局
	八尋わか奈	杵藤地区広域市町村圏組合消防本部
	柴田 広文	奈良県広域消防組合消防本部

SS2 ミニPPST ～救急隊員向け精神科救急対応を学べ～

P.200

熊本医療センター 橋本 聡

パネルディスカッション5

9:00～10:30

第3会場 (3階 A1 会議室)

「指導救命士」 ～指導救命士の使命と実践～

座長	西山 裕	川崎市消防局
アドバイザー	入江 悠平	救急救命九州研修所
	山中 亮人	神戸市消防局

PD5-1 指導救命士研修におけるDXの導入と効果 ～持続可能な人材育成を目指して～

P.203

広島市消防局 岩井 祐樹

PD5-2 救急活動プロトコル逸脱事案発生時における指導救命士としての対応について

P.203

鳥取中部ふるさと広域連合消防局 松井 裕美

PD5-3 指導救命士の使命と実践 ～学びを引き出し、未来に気づく～

P.204

湖南広域消防局 片山 直広

PD5-4 指導救命士を中心としたシミュレーション研修の取り組み

P.204

福山地区消防組合消防局 松岡 晃弘

PD5-5 指導救命士による同乗指導を経験して

P.205

花巻市消防本部 小瀬川正尚

パネルディスカッション6

10:45～12:15

第3会場 (3階 A1 会議室)

「通信指令員教育」 ～教育の平準化～

座長	若林 康浩	相模原市消防局
アドバイザー	北小屋 裕	病院前救護と健康管理研究会
	玉井 豪	福岡市消防局

PD6-1 おおいた消防指令センターにおける指令員教育

P.206

大分市消防局 須藤 宏和

PD6-2 官民連携！外国人119通報対応教育

P.206

熊本県消防学校 古川 怜

PD6-3 通信指令員教育体制について

P.207

岡山市消防局 西山 翔

PD6-4 役場職員を通報者役とした、指令課員口頭指導研修会について

P.207

みよし広域連合消防本部 島尾 佳宏

PD6-5 泉州通信指令員救急教育コース「S-EDGE」の紹介 ～屋根瓦式教育体制の地域実装の試み～

P.208

泉州南消防組合泉州南広域消防本部 木村 信広

シンポジウム5

9:00～10:30

第4会場（3階 A2会議室）

「救急需要対策」 ～備えよ。守るべき未来のために～

座長 田中 勤 新潟市消防局
アドバイザー 竹田 佳宏 総務省消防庁
笹平 拓郎 鹿児島市消防局

SY5-1 救急安心センターおおさか 運営改善による効果と今後の課題

P.211

大阪市消防局 千阪 健悟

SY5-2 救急需要対策：名古屋市消防局の取り組み

P.211

名古屋市消防局 山内 奨太

SY5-3 千葉市消防局における救急搬送困難減少を目指した2つの取り組み

P.212

千葉市消防局 藤村 実儀

SY5-4 救急搬送における選定療養費の徴収について

P.212

茨城県保健医療部 一戸 奨

SY5-5 活動時間延長の段階把握とその要因分析について

P.213

衣浦東部広域連合消防局 小竹 光

シンポジウム6

10:45～12:15

第4会場（3階 A2会議室）

「救急出動体制の強化」 ～広がる活動の可能性～

座長 篠森 孝央 札幌市消防局
アドバイザー 坂本 哲也 公立昭和病院
守屋 敏勝 宮崎市消防局

SY6-1 認定救命士の複数名乗務が院外心停止傷病者の転帰に与える影響

P.214

神戸市消防局 花村 直人

SY6-2 函館市における救急出動体制の強化（質的向上アプローチ）について

P.214

函館市消防本部 岩井千代志

SY6-3 増加の一途をたどる救急出動件数に対する当消防本部での取り組みについて

P.215

白山野々市広域消防本部 北村 慎吾

SY6-4 複数の救急救命士によるタスクの分配は院外心停止への早期アドレナリン投与に寄与する

P.215

遠軽地区広域組合消防本部 谷口 圭祐

一般発表 22

9:00~10:30

第 5 会場 (3 階 A3 会議室)

「特定行為」

座 長 坂本 文昭 鳥取県東部広域行政管理組合消防局
 助言者 徳永 尊彦 救急救命東京研修所
 鈴木 章雄 宇都宮市消防局

O22-1 早期アドレナリン投与を目的とした活動時の今後の課題について P.219

盛岡地区広域消防組合消防本部 佐藤 恵佑

O22-2 当地域における心肺蘇生中の換気の現状と予後との相関 P.219

宇都宮市消防局 秋間 健一

O22-3 プレホスピタルケア下のアドレナリン投与の時間的制約について P.220

つくば市消防本部 小林 直人

O22-4 「アナフィラキシー症例とエピペン投与について」 P.220

日立市消防本部 生江 周平

O22-5 アドレナリン投与後の現場離脱のタイミングについて P.221

伊勢原市消防本部 中島 史博

O22-6 技術研修会を通じた早期アドレナリン投与への組織的アプローチ P.221

神戸市消防局 河野 裕

O22-7 官学連携を契機としたアドレナリン投与実施場所に関する研究 P.222

山口市消防本部 藤本 浩範

一般発表 27

10:45~12:15

第 5 会場 (3 階 A3 会議室)

「救急活動 (外因性)」

座 長 牧 昭彦 下関市消防局
 助言者 梅村 武寛 琉球大学病院
 北岡 和高 松山市消防局

O27-1 脳卒中を発症し転倒した傷病者が、頭部外傷により頸髄損傷を引き起こした症例について P.223

富岡甘楽広域消防本部 小林 大輔

O27-2 圧挫が短時間の傷病者に対してクラッシュ症候群を疑い、心停止前輸液を行った症例 P.223

白山野々市広域消防本部 山本光太郎

O27-3 皮膚症状を伴わず心疾患との鑑別を要した蜂刺症によるアナフィラキシーショック症例 P.224

舞鶴市消防本部 永尾 浩規

O27-4 麻痺性貝毒が疑われた救急搬送症例について P.224

池田市消防本部 豊山 拓海

027-5	局所的症状のみを呈し現場でのアナフィラキシーの想定が困難であった一例	P.225
	貝塚市消防本部 川崎 稚将	
027-6	熱中症傷病者に対しアイスタオルとアイスパックを用いた冷却法が奏功した2例	P.225
	松江市消防本部 高橋 啓太	
027-7	高速道路、外国人バイク単独事故、救急業務におけるDX活用症例	P.226
	人吉下球磨消防組合消防本部 中村 瑞樹	

一般発表 23

9:00~10:30

第6会場 (3階 A4会議室)

「救急隊員教育②」

座長	入野谷 崇	岡山市消防局
助言者	友尻 茂樹	福岡赤十字病院
	吉田 定義	さいたま市消防局

023-1	統計学を用いて救急訓練を最適化する戦略的アプローチ	P.229
	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部 羽金 良高	
023-2	救急隊員の発信力を育む教育実践 —プレゼンテーション能力向上への挑戦—	P.229
	堺市消防局 中西 祐太	
023-3	目に見える成果が表れた救急総合シミュレーション訓練	P.230
	平塚市消防本部 宇佐美雅史	
023-4	実践的教育体制の構築と応用力強化への取り組み —救急救命士教育17年が経過して—	P.230
	衣浦東部広域連合消防局 牧寄 健太	
023-5	「営業成績一覧表」を参考とした、救急隊員訓練実績の見える化と再教育の仕組み	P.231
	城陽市消防本部 増子 孝徳	
023-6	CKKT（知識経験共有トレーニング）の考案と実施の効果について	P.231
	岡山市消防局 稲富 崇司	
023-7	市民に寄り添った救急隊をめざして	P.232
	糸島市消防本部 中島 竜太	

一般発表 28

10:45~12:15

第6会場 (3階 A4会議室)

「救急DX②」

座長	野上 大佑	福岡市消防局
助言者	黒田 宏昭	北九州総合病院
	習田 良輔	姫路市消防局

028-1	救急業務のICT化における救急活動の適正化について	P.233
	新潟市消防局 平方 翔	
028-2	公共安全モバイルシステム（PS-LTE）の活用事例と今後について	P.233
	金沢市消防局 石田 充	

028-3	救急医療情報連携プラットフォームモデル事業実証実験 救急搬送業務の効率化を目指して	P.234
	浜松市消防局 太田 翔梧	
028-4	令和6年度マイナ救急実証事業の結果から考察する今後の展望について	P.234
	京都市消防局 中田 啓之	
028-5	大規模なシステム改修を伴わないDXとして RPAを活用したシステム構築	P.235
	神戸市消防局 梅木 裕史	
028-6	消防DXの最前線：AI活用による救急資器材のデジタルシフト	P.235
	登米市消防本部 辺見 宏樹	
028-7	病院受け入れ情報の共有化とその効果についての考察	P.236
	福岡市消防局 篠原 瞳也	

一般発表 24

9:00～10:30

第7会場（3階C会議室）

「救急資器材②」

座長	上村 総司	八代広域行政事務組合消防本部
助言者	楠 真二	県立広島病院
	飯田 雄樹	山鹿市消防本部

024-1	救急活動時における夏季用感染防止衣の導入効果 ～救急隊員の活動環境改善への一手～	P.239
	いわき市消防本部 猪狩 和哉	
024-2	病院前救護における体温測定デバイスと測定部位の検討	P.239
	横浜市消防局 成田 寛之	
024-3	夏期における車内の温度変化についての調査・研究（医薬品の品質保持の観点から）	P.240
	川崎市消防局 山本 靖	
024-4	訪日外国人旅行客の命を守る！『インフォームドコンセントプロセスの簡素化と迅速化』	P.240
	富士五湖広域事務組合富士五湖消防本部 渡辺 直通	
024-5	救急活動用軽量ヘルメット導入の効果について	P.241
	大津市消防局 林 美樹	
024-6	12誘導心電図の現状課題と今後の展望	P.241
	大阪南消防局 西岡 邦仁	
024-7	自動心肺蘇生器の認知度及び印象調査 ーインフォームドコンセントの必要性ー	P.242
	佐賀広域消防局 貞富 勇人	

一般発表 29

10:45～12:15

第7会場 (3階C会議室)

「救急活動 (安全管理)」

座長 迎 晃 佐世保市消防局
助言者 落合 秀信 宮崎大学医学部附属病院
沖田俊一郎 伊万里・有田消防本部

- 029-1** インシデント・アクシデントの原因究明および今後の課題 P.243
埼玉県央広域消防本部 高橋 渚
- 029-2** 救急隊員に対する安全管理教育の取り組みについて P.243
水戸市消防局 小井川裕史
- 029-3** 「心理的安全性の確保」を主眼とした事故ゼロを目指す救急訓練について P.244
駿東伊豆消防本部 山元 大輔
- 029-4** 新任救急隊員教育の取組とその後のインシデント発生率の変化について P.244
埼玉県央広域消防本部 中村 剛
- 029-5** 岐阜県における事故・ヒヤリハット事案の調査及び対策について P.245
岐阜県庁消防課 (恵那市消防本部から出向) 安藤 健太
- 029-6** 救急活動時の駐停車に注目した交通事故防止について P.245
大阪市消防局 浦崎 章吉
- 029-7** 救急活動中のインシデント・アクシデントの傾向分析とその教育的活用 P.246
奈良県広域消防組合消防本部 井上 務

一般発表 25

9:00～10:30

第8会場 (3階D会議室)

「各消防本部の取組み②」

座長 長谷川満康 春日・大野城・那珂川消防組合消防本部
助言者 松園 幸雅 荒尾市立有明医療センター
福田 洋輔 松江市消防本部

- 025-1** 小学生が脳卒中の先生に！脳卒中における寝たきり予防の新たなアプローチ P.249
石岡市消防本部 木村 萌
- 025-2** 救急車同乗実習の実習生と指導員の本音から見える現状と未来への展望 P.249
越谷市消防局 小林 千波
- 025-3** 救護訓練における映像119の活用に係る一考察 P.250
横浜市消防局 渡邊 孝
- 025-4** 年齢層別で見る「現場滞在時間」の現状 ～同乗者の有無が与える影響～ P.250
川崎市消防局 小川 史朗
- 025-5** 介護保健施設との連携強化から得た成果について P.251
西宮市消防局 大林 翔

025-6 想い合いからはじまる新たなチームビルディング

P.251

福山地区消防組合消防局 山本早由利

025-7 林業関係労災事故の予防救急について

P.252

人吉下球磨消防組合消防本部 田頭 哲也

一般発表 30

10:45~12:15

第 8 会場 (3 階 D 会議室)

「ドクターカー・ドクターヘリ」

座 長 又吉 充 うるま市消防本部
助言者 倉田 秀明 緑泉会米盛病院
甲斐 拓馬 延岡市消防本部

030-1 ドクターヘリ連携における覚知からフライト医師接触時間の検証 ～現状把握とこれから～

P.253

柏崎市消防本部 霜田 悟

030-2 救命救急センターがドクターヘリスタッフと協働し複数傷病者を受け入れた事案

P.253

那須地区消防組合消防本部 鈴木 崇史

030-3 標高約1278m 登山中に発症した胸痛 山岳救助事案

P.254

塩谷広域行政組合消防本部 伊藤 大介

030-4 緊急度判定プロトコルがドクターカー運用のスイッチとなるのか

P.254

前橋市消防局 山田 靖

030-5 消防救命士が運用するドクターカーと自治体救急車とのドッキング事案 ～12歳のCPA～

P.255

三重大学医学部附属病院 高度救命救急・総合集中治療センター（津市消防本部から出向） 堤 裕紀

030-6 顔面から胸部に腫脹と皮膚の変色を認めた劇症型壊死性筋膜炎の一症例

P.255

安来市消防本部 角 光馬

030-7 CPR-ICを呈した難治性VF症例

P.256

久留米広域消防本部 秋吉 和希

一般発表 26

9:00~10:30

第 9 会場 (3 階 E 会議室)

「調査・研究（救急活動②）」

座 長 三品 昌一 明石市消防局
助言者 山本 明彦 大分県立病院
中村 哲久 茨城西南広域消防本部

026-1 アイトラッキング技術を用いた視覚的二重課題が胸骨圧迫の質に及ぼす影響の調査

P.259

弘前地区消防事務組合消防本部 相馬進之介

026-2 名護市消防本部における病院外心停止活動中の胸骨圧迫中断要因の分析

P.259

名護市消防本部 仲榮真盛一

026-3 機械式胸骨圧迫の有効性検証 ―テクノロジーが直面する壁―

P.260

粕屋北部消防本部 山口 真平

026-4	自動心肺蘇生器（Clover3000™）導入に伴う検証結果について	P.260
	鳥取県東部広域行政管理組合消防局 下田 悠平	
026-5	機械的CPR装置の使用と特定行為および転帰との関連についての検討	P.261
	奈良市消防局 川崎 知美	
026-6	自動式心マッサージ器の有用性と救急隊員の意識改革 ～失われた45%の時間～	P.261
	広島市消防局 藤堂 智章	
026-7	High performance CPRに向けた救急ワークステーションの取組み	P.262
	松山市消防局 住田 康幸	

一般発表31

10:45～12:15

第9会場（3階E会議室）

「関係機関との連携（地域・行政）」

座長	武内 秀登	尾道市消防局
助言者	高橋 毅	熊本医療センター
	櫻井 善弘	高崎市等広域消防局

031-1	民間企業による救命講習運営の実際とその可能性について	P.263
	札幌市消防局 日詰 妙子	
031-2	当消防本部管轄のゴルフ場における救護体制の構築に向けた取り組みについて	P.263
	筑西広域消防本部 栗野 卓	
031-3	草加八潮地域における高齢者救急の取り組み ～関係機関との情報共有から市民への啓蒙～	P.264
	草加八潮消防局 松山千恵美	
031-4	地域連携による「あんしん救急ー知って予防！救急車ー」啓発活動の展開	P.264
	横浜市消防局 岩崎 成彦	
031-5	船舶が防波堤に衝突した多数傷病者災害を機に防災関係機関との連携について検討	P.265
	鳥取県西部広域行政管理組合消防局 梶谷 将貴	
031-6	医師会、医療機関、行政が連携した救急医療体制の充実を目的とした取り組み	P.265
	西はりま消防組合 立巳 泰広	
031-7	高齢者の孤独死を減らす取り組みについて ～消防の立場から～	P.266
	飯塚地区消防本部 渡邊 直樹	

「こども救命士になろう！」 ～興味を持って未来に繋げ～

講 師	佐藤 友子	済生会熊本病院			
司 会	片山 未希	熊本市消防局			
指導者	木本 華乃	熊本市消防局	酒井 笑加	熊本市消防局	
	稲貝 広大	熊本市消防局	八谷 豪太	熊本市消防局	
	小林 誉	熊本市消防局	久木田雄哉	熊本市消防局	
	園田 隆生	熊本市消防局	高永 叶夢	熊本市消防局	
	山田 幸介	熊本市消防局	竹田 康平	熊本市消防局	

PL2 こども救命士になろう！ ～興味を持って未来に繋げ～

P.269

済生会熊本病院 佐藤 友子